

交通科学博物館 梅小路蒸気機関車館から 京都鉄道博物館へ

1

交通科学博物館



2

交通科学博物館のあゆみ

S37年 交通科学博物館は日本国有鉄道の大阪環状線開通記念事業として開館。当時は東海道新幹線の起工など交通科学のビジョンが次から次へと実現していく時代であった。

このため、新時代の交通を指向するような「交通科学館」の名称で発足。

S62年 国鉄民営化により西日本旅客鉄道株式会社が継承。

H2年 名称を「交通科学博物館」へと変更し、歴史的な意義やストーリーをより重要視した構成の展示に。また、資料の収集を積極的に進める。

H5年 屋内展示の全面リニューアルを実施。

H12年 英国国立鉄道博物館と姉妹提携。

H26年 閉館 累計入館者数1,811万人（年平均36万人）。

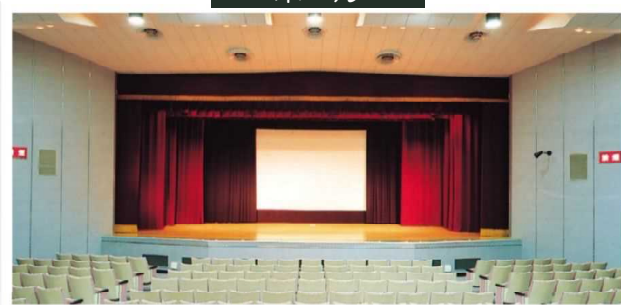
3

主な施設

屋外展示場



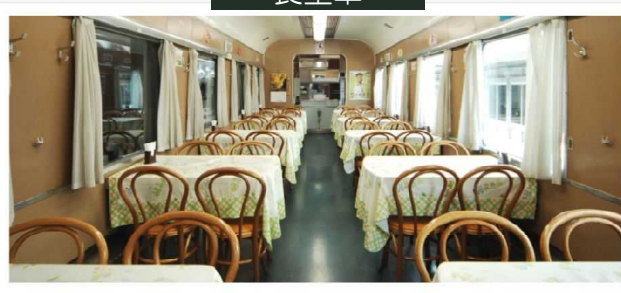
ホール



図書資料室

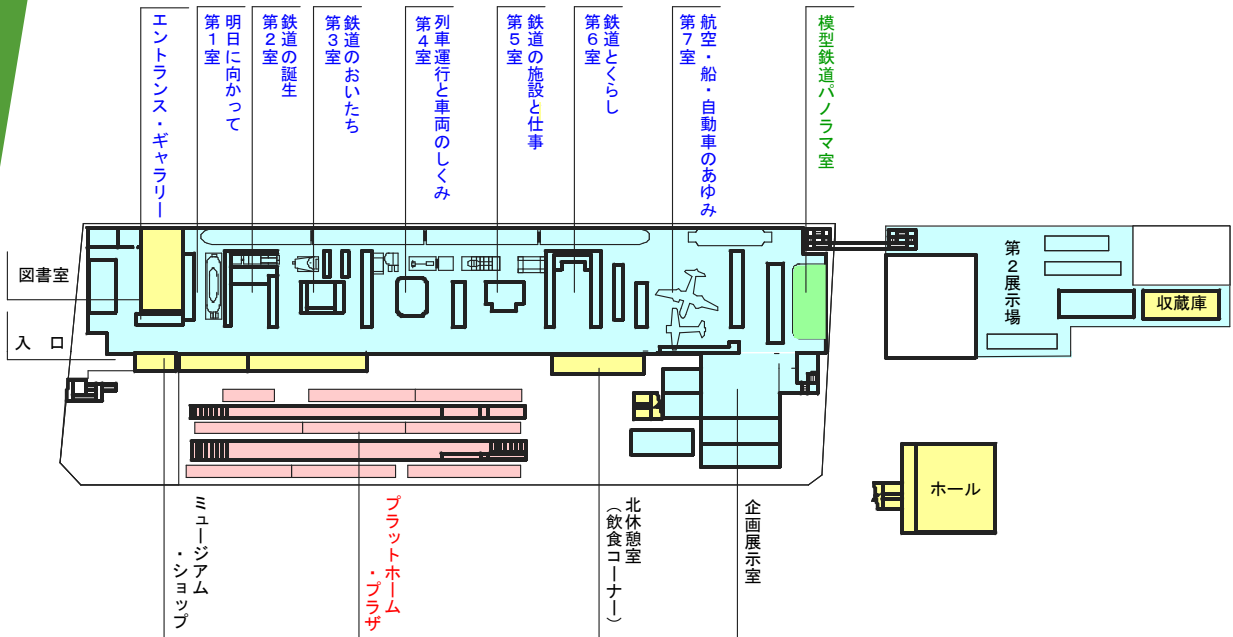


食堂車



4

フロアマップ



敷地面積 14,374㎡

建物延べ面積 9,033㎡

5

展示内容

7つの展示室では鉄道の誕生から現在の鉄道までの歴史を紹介し、さらに鉄道の仕組みや施設、仕事内容、また鉄道が社会や文化にどのように関わり影響をもたらしてきたかなどを展示。

-第1室- 明日に向かって

鉄道の高速化の歴史やJR各社の高速車両の紹介とリニアモーターカー・マグレブの開発の歴史や仕組み・原理を展示

-第2室- 鉄道の誕生

英国での鉄道の創世、日本の鉄道の誕生を展示

-第3室- 鉄道の歩み

鉄道創業後の鉄道通史、旅客輸送及び貨物輸送の歩みを展示

-第4室- 列車運行と車両のしくみ

安全に列車を運行させるシステムと鉄道車両の仕組みを展示

-第5室- 鉄道の施設としごと

安全・正確・大量・高速輸送のための施設や設備、その仕事を展示

-第6室- 鉄道とくらし

鉄道が社会や文化に与えた影響と、大阪を中心とした関西の鉄道の発達を展示

-第7室- 航空・船・自動車のあゆみ

陸・海・空の交通のくふうと発明の歴史を展示

6

実物車両(20両)

名 称	概 要
7100形蒸気機関車「義経号」	明治13年製 北海道で最初に走った初のアメリカ製機関車
1800形蒸気機関車	明治14年製 京都・大津間で逢坂越えの強力機で英国から輸入
230形蒸気機関車	明治36年製 日本初の車両会社、「汽車製造」の最初の量産機
D51形蒸気機関車	昭和11年製 1,115両の最量産機、技術の集大成を図った代表機関車
C62形蒸気機関車	昭和23年製 戦後製造の急行旅客用大型蒸気、「つばめ」などを牽引
Ef52形電気機関車	昭和3年製 日本で最初の量産機
キハ81形特急用ディーゼルカー	昭和35年製 最初の特急用ディーゼルカー、全国特急網を可能にした
DF50形ディーゼル機関車	昭和33年製 最初の大形量産機で全国の無煙化を促進
DD13形ディーゼル機関車	昭和42年製 最初の入換用機関車、都市の操車場の煙公害を解決
DD54形ディーゼル機関車	昭和46年製 ドイツの技術を全面的に取り入れた中型機
クハ86形湘南電車	昭和25年製 国鉄が最初に試みた長距離を走る電車列車
モハ80形湘南電車	昭和25年製 クハ86形の間車(運転席の無い電車の初め)
スシ28形食堂車	昭和8年製 元は壱岐線用の食堂と2等座席の合造車
マロネフ59形1等寝台車	昭和13年製 皇族・貴賓客用、戦後一時期占領軍が使用
ナシ20形食堂車	昭和45年製 電化キッチンの最初、寝台特急列車(ブルートレイン)用
O系新幹線電車先頭車	昭和39年製 新幹線の第1号車
O系新幹線電車先頭車	昭和39年製 新幹線の第1号車
O系新幹線電車グリーン車	昭和39年製 新幹線の第1号車
O系新幹線電車ビューフェ車	昭和39年製 新幹線の第1号車
ML-500形リニアモーターカーダブ	昭和52年製 昭和54年に517km/hの世界記録を樹立、実用の一端を証明

交通科学博物館の鉄道文化遺産

◆重要文化財

230形蒸気機関車 (H28 文部科学省が指定)

◆鉄道記念物

7100形、1800形、230形蒸気機関車 (H16 JR西日本が指定)

Ef52形電気機関車 (H16 JR西日本が指定)

O系新幹線電車 (H20 JR西日本が指定)

大阪駅時鐘 (S35 国鉄が指定)

◆準鉄道記念物

クハ86形・80形湘南電車 (S61 国鉄が指定)

キハ81形特急用ディーゼルカー (S61 国鉄が指定)

回転変流機 (S51 国鉄が指定)

◆機械遺産

230形蒸気機関車 (H19 日本機械学会が認定)

O系新幹線電車 (H19 日本機械学会が認定)

体験型展示(1)「安全に列車を走らせよう」

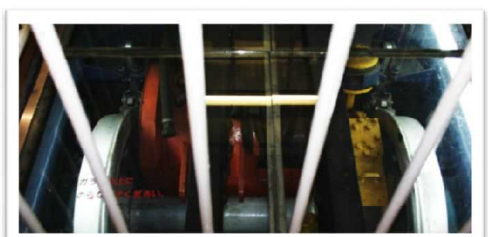
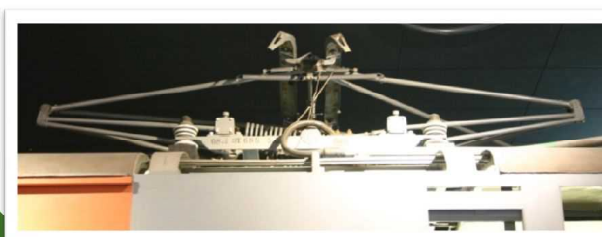
マスコンハンドルやブレーキハンドルを実際の電車のように操作し、モニターやジオラマ上の走行模型を眺めながら、信号やATSなどの電車を安全に走らせることのできる仕組みを体感できる装置模型。



9

体験型展示(2) クモハ100形電車

実物大のカットモデルを利用し台車（車輪）の動きやドアの開閉、パンタグラフの動きなどを体感し、仕組みを理解することができる装置。



10

展示資料(1) 0系新幹線電車

昭和39年に東海道新幹線の開業で登場した0系新幹線電車。当時の世界最高時速210km/hで走行し高速鉄道の先駆けとなる。第1号車4両（先頭車2両・ビューフェ車・グリーン車）を保存展示。平成19年に「機械遺産」に認定。



11

展示資料(2) 230形蒸気機関車

明治36年、英国の機関車を手本に民間会社が製造した蒸気機関車。現存する最古の国産タンク式蒸気機関車として貴重な車両。平成19年に「機械遺産」に認定。28年に重要文化財に指定。



12

展示資料(3) 7100形蒸気機関車「義経号」

北海道で最初に走った蒸気機関車で、初期の開拓鉄道用機関車の典型として記念すべき車両。平成22年に鷹取工場で動態保存機として復元。26年に重油燃焼から石炭燃焼に改修。



13

模型鉄道パノラマ室

学芸員の操作と解説による模型運転で、開館当初より人気が高かった。



14

資料収集

資料

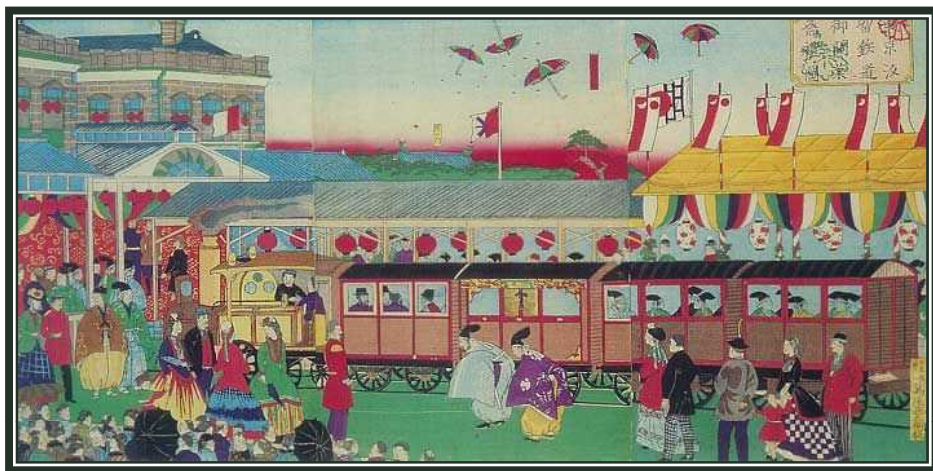
交通科学博物館に名称を変更し、それを機に実物の資料だけでなく紙資料の収集にも積極的に取り組んだ。

図書

図書種別	主な資料	点数
鉄 道	鉄道工学・鉄道史など	12,482
船舶・海運	船舶工学・河川工事・海運など	1,063
航 空	宇宙航空工学・航空運輸など	1,061
陸 運	自動車工学・自動車輸送など	810
道 路	道路工学・橋梁工学など	304
交通一般	交通論・交通政策など	1,408
博 物 館	博物館学・図書館学など	225
そ の 他	郷土史・観光・自叙伝など	2,860
合 計		20,213

資料種別	主な資料	点数
美術工芸	錦絵・拓本など	586
地図類	鉄道路線図など	780
図面類	車両明細図など	2,124
文書類	鉄道広報など	2,561
絵葉書類	交通・観光絵葉書など	2,758
銘板類	蒸気機関車ナンバープレートなど	714
乗車券類	記念乗車券など	9,376
被服類	鉄道制服など	192
記念品類	開通記念品など	102
視聴覚類	ビデオ・16ミリフィルムなど	443
時刻表類	JR時刻表・列車運行図表など	2,747
スタンプ・切手類	駅記念スタンプなど	2,365
ポスター類	鉄道案内ポスターなど	618
アルバム類	鉄道工事アルバムなど	612
交通機器類	鉄道車両・機器・用具・模型など	1,658
パンフレット類	鉄道技術パンフレットなど	4,269
原簿類	車歴簿など	464
写真類	鉄道車両・駅舎など	9,814
合 計		42,183

鉄道錦絵と時刻表



調査研究

JR西日本からの依頼により管内のさまざまな事物を調査し、歴史的価値などから保存対象とすべきか有識者と共に検討。

竹野駅跨線橋



和田山機関庫及び給水塔

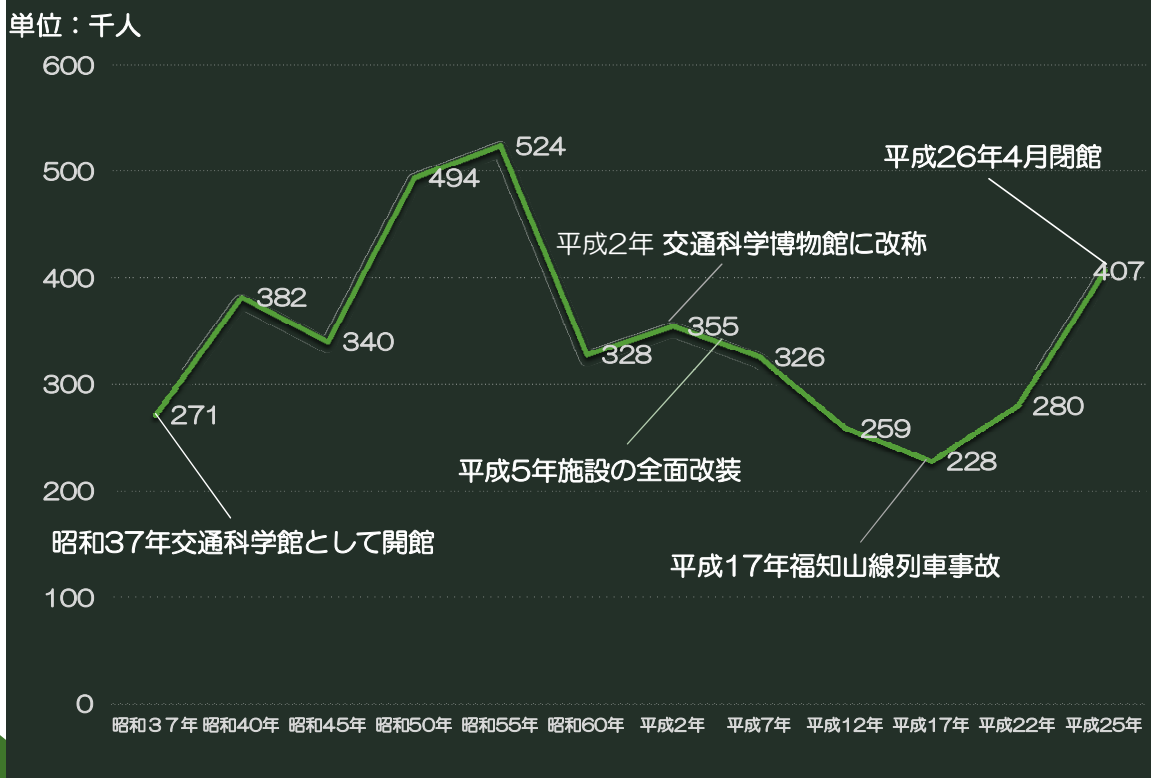


17

平成26年4月6日 最終日の様子



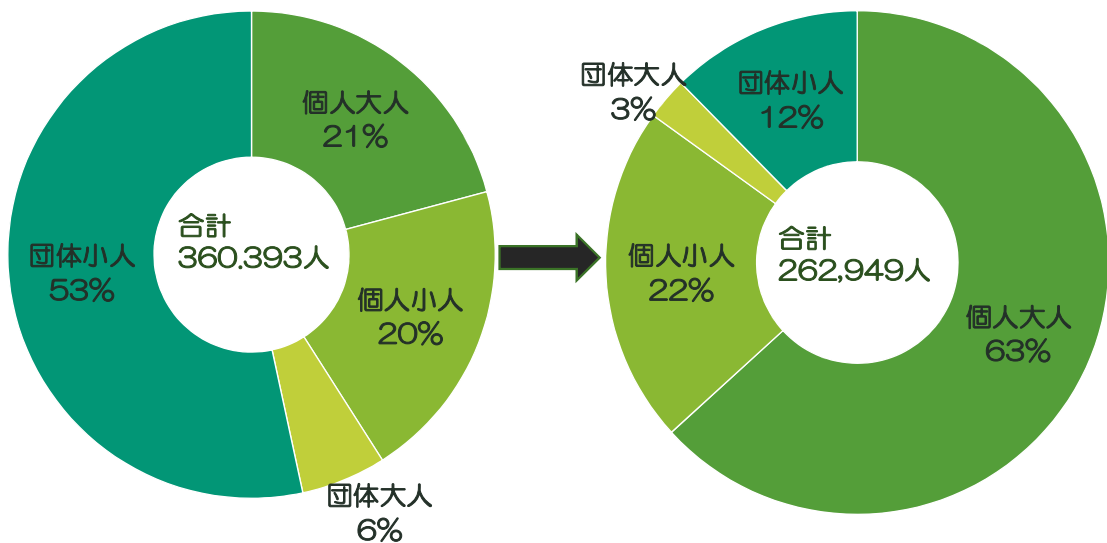
入館者数の推移



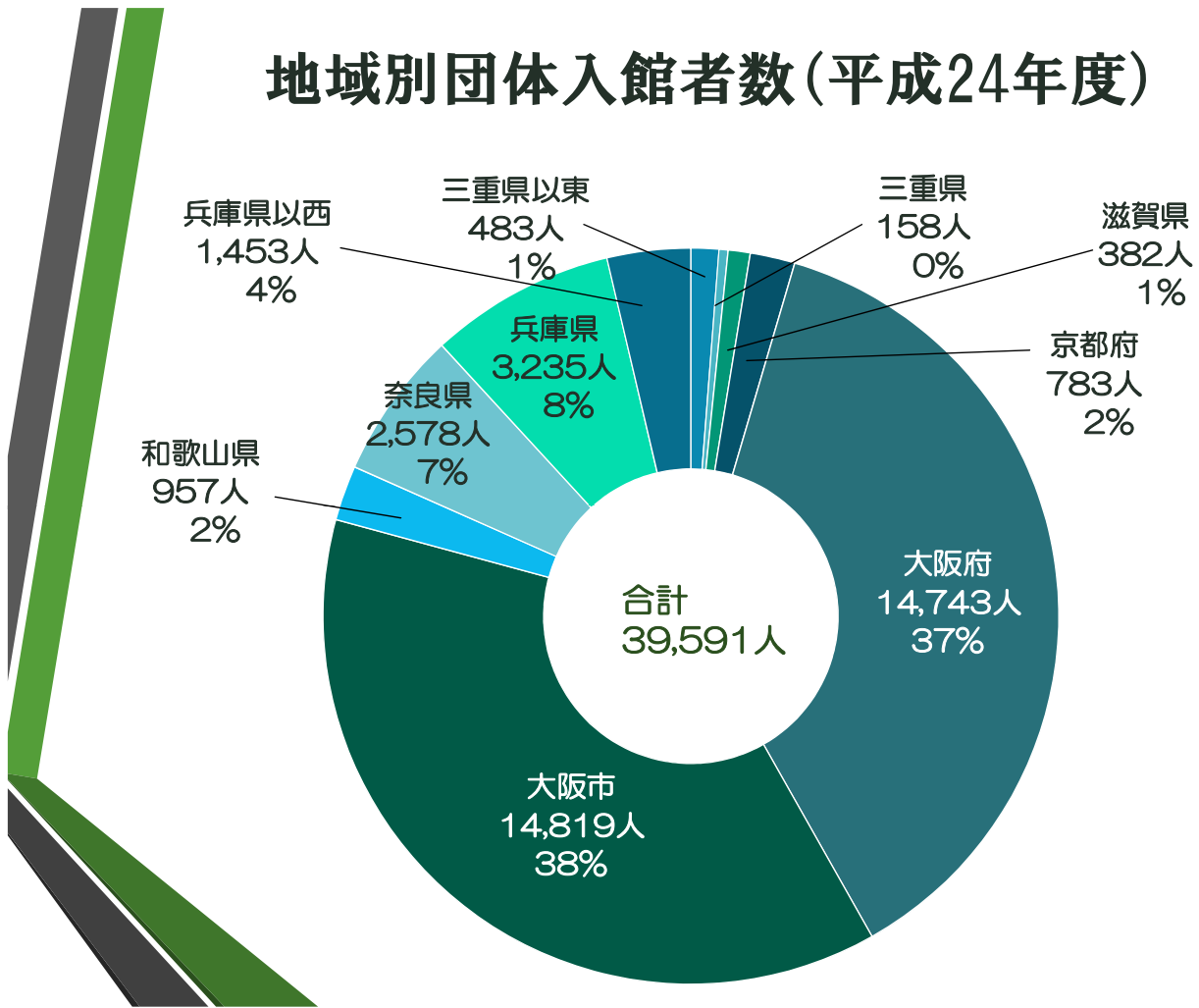
入館者内訳の推移

昭和41年度

平成24年度



地域別団体入館者数(平成24年度)



梅小路蒸気機関車館

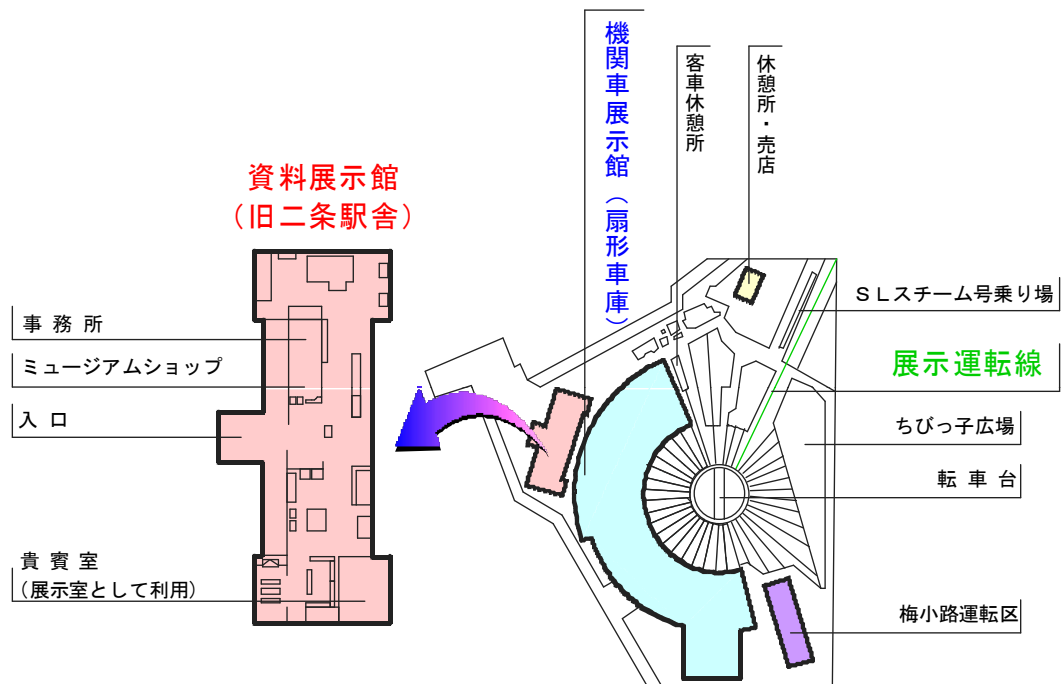


梅小路蒸気機関車館のあゆみ

- S42年 国鉄の「動力近代化」の時期に「一部の蒸気機関車を動かすことのできる状態で保存し、後世に残し伝えたい」との考えから蒸気機関車の動態保存を検討。いくつかの候補地の中から京都の梅小路機関区がより望ましいとされ、「梅小路機関区における17形式保存案」構想が固まる。
- S47年 国鉄が鉄道100年記念事業の一環として開館し、大阪鉄道管理局が運営。
- S62年 国鉄民営化により西日本旅客鉄道株式会社が継承。
- H8年 (財)交通文化振興財団がJR西日本から受託し、交通科学博物館と共に運営。
- H9年 旧二条駅舎を移築し、リニューアルオープン。限られたスペースの中ではあるが博物館としての体裁を整えるようになる。
- H12年 英国国立鉄道博物館と姉妹提携。
- H27年 8月閉館。累計入館者数843万人(年平均20万人)。

23

主な施設



敷地面積 13,725 m²

建物延べ面積 4,629m²

24

機関車展示館と転車台

- ・扇形庫方式のラウンドハウスをもつ大規模機関車庫としては初期のもので、大正3年に完成。
- ・平成16年に国の「重要文化財」に指定。
- ・転車台は標準形の20メートル級。



25

資料展示館(旧二条駅舎)

- ・明治37年に当時の京都鉄道株式会社によって建てられた大規模な和風建築の駅舎で、平成8年に京都市の「指定有形文化財」に指定。
- ・平成9年に梅小路蒸気機関車館に移築し、資料展示館とした。



26

展示内容

- ・機関車展示館には、18形式20両の蒸気機関車の実物車両を保存、展示。
- ・8両は動態保存でその一部はイベント列車を牽引して営業線で運転。
- ・展示運転線では線路を往復する「SLスチーム号」の乗車体験を実施。

保存車両 (は動態保存の蒸気機関車)

形 式	機 号	製造年	形 式	機 号	製造年
7100形	7105号機	M13年	C57形	1号機	S12年
1070形	1080号機	M34年	C58形	1号機	S13年
9600形	9633号機	T3年	D51形	200号機	S13年
8620形	8630号機	T3年	C56形	160号機	S14年
D50形	140号機	S元年	B20形	10号機	S21年
C51形	239号機	S2年	C59形	164号機	S21年
C53形	45号機	S3年	D52形	468号機	S21年
C55形	1号機	S10年	C61形	2号機	S23年
C11形	64号機	S10年	C62形	1号機	S23年
D51形	1号機	S11年	C62形	2号機	S23年

機関車館の鉄道文化遺産

◆重要文化財

機関車庫 (H16 文部科学省が指定)

◆京都市指定有形文化財

旧二条駅舎 (H8 京都教育委員会が指定)

◆準鉄道記念物

蒸気機関車18両、機関車庫、転車台、旧二条駅舎他 (H18
JR西日本が指定)

◆土木學會選奨土木遺産

機関車庫 (H16 社団法人土木學會が認定)

◆近代化産業遺産

機関車庫、転車台 (H21 経済産業省が認定)

展示品

投炭練習機

実際に使用されていた投炭練習機を展示。
機関助士の仕事の大変さを体験することができる。



お召列車コーナー

お召列車に使用された様々な装飾品の
実物などを展示。



29

イベント列車

SL やまぐち号



SL 北びわこ号



30

SLスチーム号



31

英国国立鉄道博物館との姉妹提携

- ・平成12年に英国国立鉄道博物館と交通科学博物館及び梅小路蒸気機関車館とで姉妹提携を結ぶ。
- ・姉妹提携5周年記念では英国国立鉄道博物館が収蔵する多くの貴重な資料を借用し記念展示。
- ・10周年記念では梅小路蒸気機関車館で記念植樹。
- ・その他、職員の研修派遣などの交流を図った。

記念植樹当時（H22年）



現在の記念樹

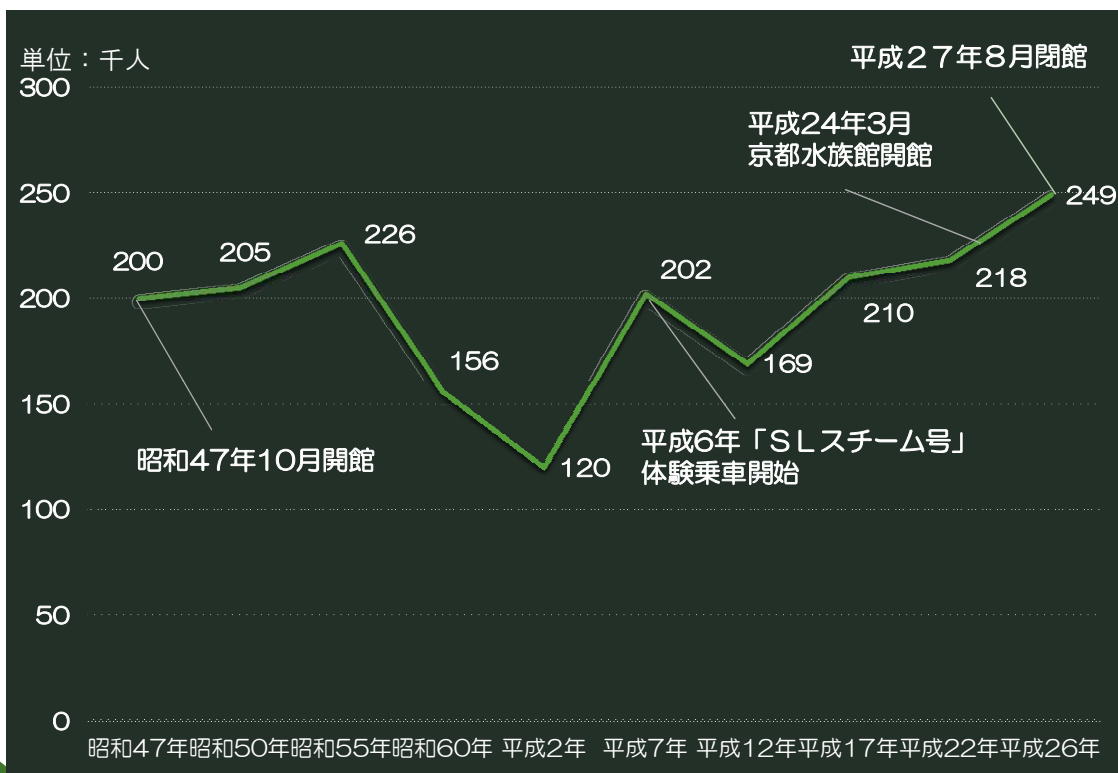


記念植樹銘板



32

入館者数の推移

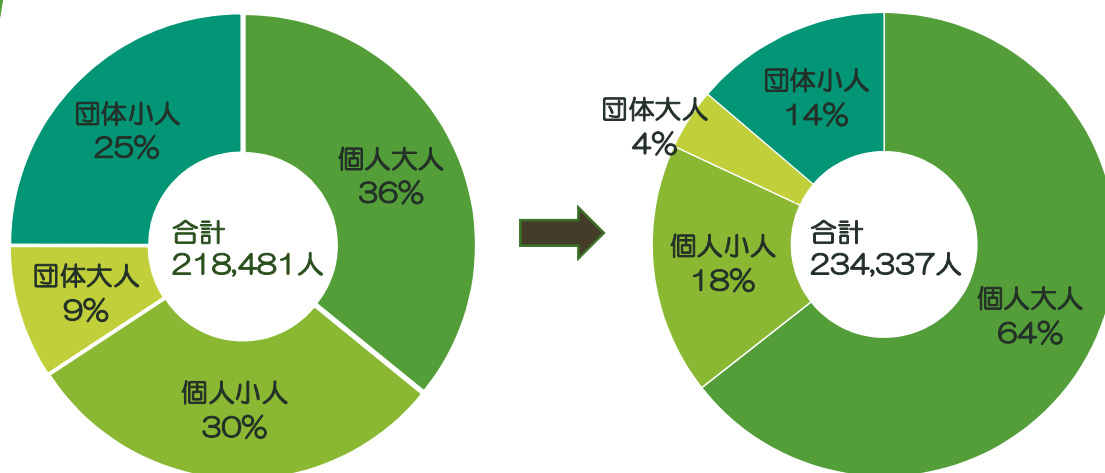


33

入館者内訳の推移

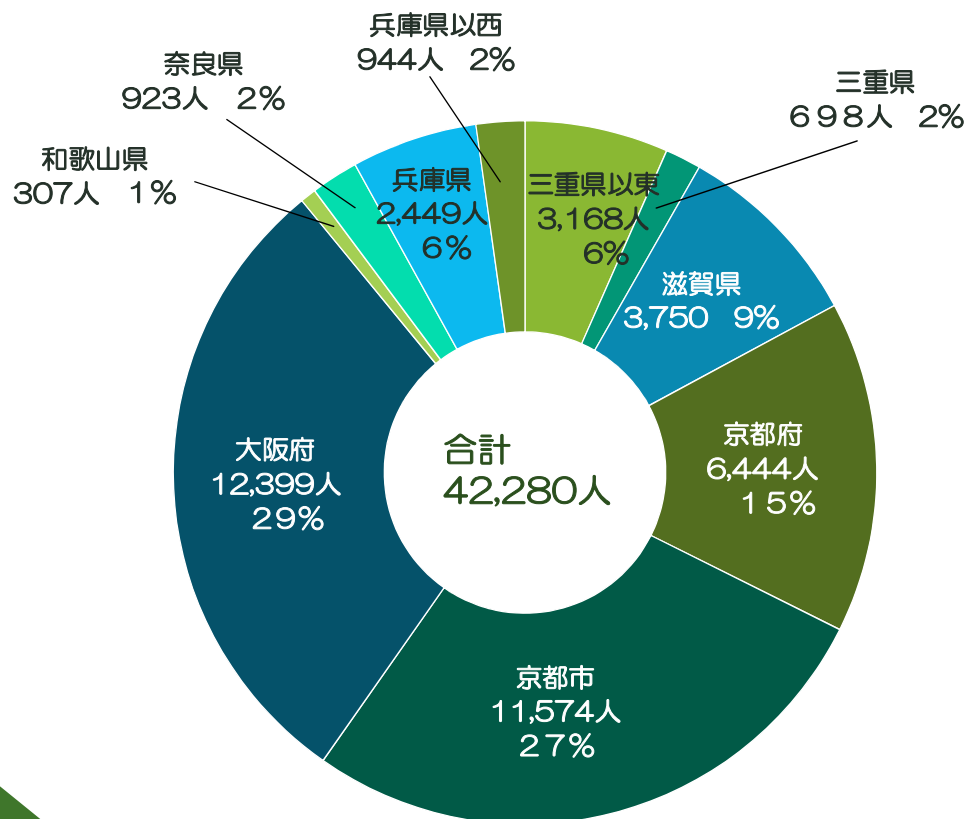
昭和51年度

平成26年度

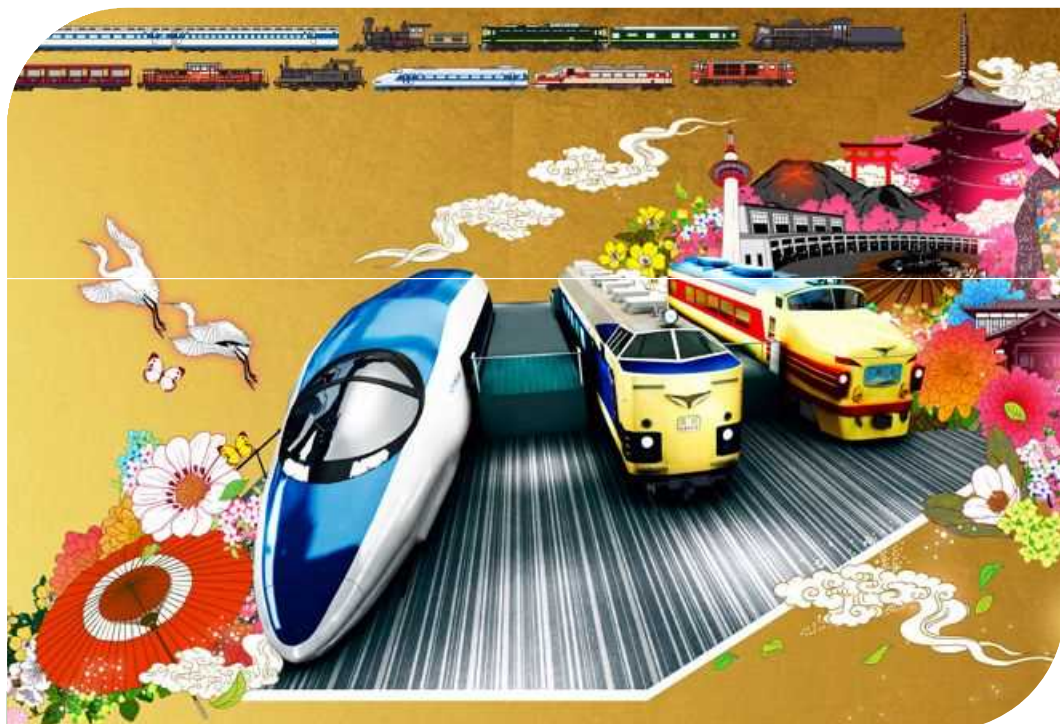


34

地域別団体入館者数(平成26年度)

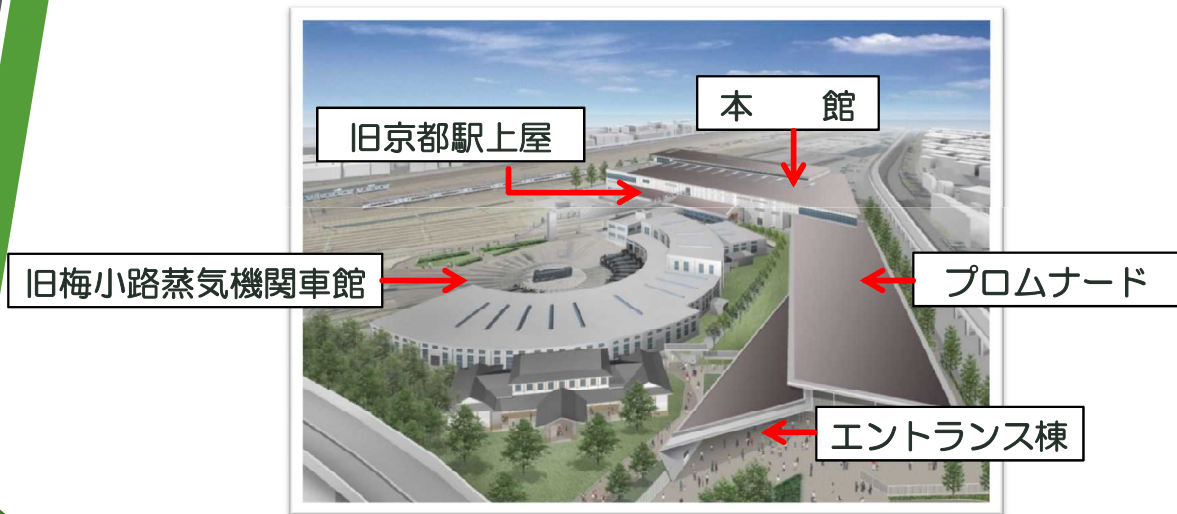


京都鉄道博物館



主な施設

- ◆ エントランス棟と一部3階建ての本館、エントランス棟と本館をむすぶプロムナードを設置。
- ◆ 旧交通科学博物館から旧京都駅上屋を移設。



敷地面積 約32,509㎡
建物延べ面積 約30,314㎡

37

博物館の基本的な考え

基本コンセプト：地域と歩む鉄道文化拠点

- ◆お客様・・・鉄道の総合博物館として鉄道ファンをはじめ家族で楽しめる学びの場を提供。
- ◆地域・・・学校教育、周辺施設、地域との連携を図り、地域の活性化に寄与。
- ◆社会・・・鉄道文化活動を通じて、鉄道事業の社会的意義の浸透や、鉄道に対する理解の促進とイメージアップを目指す。
- ◆JR西日本・・・鉄道の安全性や技術を伝える場を創出し、お客様と社員のコミュニケーションを通して、CS向上とES向上に貢献。

38

博物館の使命と行動規範

- ◆ 先人が築いてきた鉄道の歴史をふまえ、その技術・文化の継承・発展・創造のために活動することで、豊かな感性と知性にあふれる社会を築くことに貢献する。
- ◆ このため、資料の収集・保存を体系的に行い、調査・研究に努めることで価値を見出し、感動とひらめきを生み出す展示、教育普及活動を行う。
- ◆ また、地域社会と対話・連携し博物館の総合力を高めるとともに、経営資源を最大限に活かし、安定した経営を行うことで常に進化する永続的な博物館を目指す。

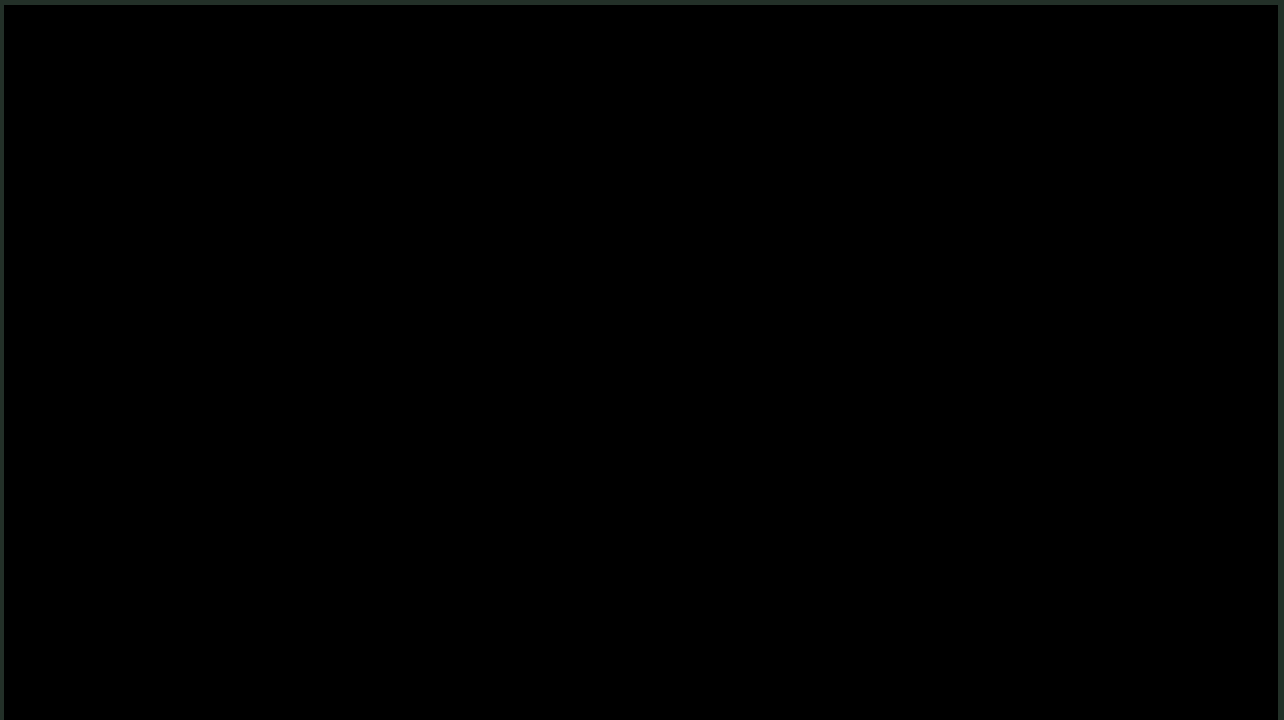
39

展示内容

- ◆ 鉄道の歴史・技術・文化の変遷を実物資料だけでなく装置模型や体験型展示によって品質の高い「生きた」展示として展開。
- ◆ 併せて営業車両を使った展示や車両のかさ上げ展示、SLの体験乗車、車両工場での展示により楽しく学べる「分かりやすい博物館」を目指す。
- ◆ 展示テーマ構成
 - ・ 歴史エリア…鉄道のあゆみ
 - ・ 鉄道のメカニズムエリア…車両と鉄道施設・運行システム
 - ・ 生活エリア…生活と鉄道

40

京都鉄道博物館プロモーションビデオ



京都鉄道博物館 内覧会ビデオ

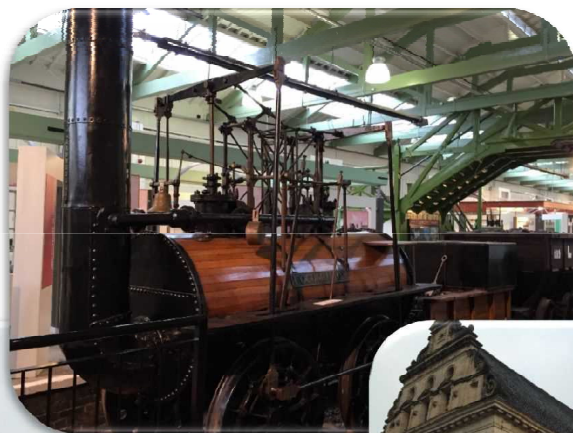


京都鉄道博物館 開館初日



43

博物館について



「博物館法」での位置付けと目的・定義

第1条（この法律の目的）

この法律は、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基き、博物館の設定及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

第2条（定義）

「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする。

45

博物館法・設置者による博物館の分類

博物館法による分類

- ・ **登録博物館**：博物館の目的を達成するために必要な資料や職員、土地・建物、年間開館日数の条件を満たし、教育委員会から登録が認められた博物館
・・・ JR東日本 鉄道博物館
- ・ **博物館相当施設**：博物館に類する事業をする施設で、国や独立行政法人が設置した施設では文部科学大臣が、その他の施設では教育委員会が指定した博物館
・・・ JR西日本 旧交通科学博物館
- ・ **博物館類似施設**：国の制度上、博物館法によらない博物館
・・・ JR西日本 梅小路蒸気機関車館、JR東海 リニア鉄道館、JR九州 九州鉄道記念館

設置者による分類

- ・ **国立博物館**：独立行政法人などが運営
- ・ **公立博物館**：都道府県や自治体が設置 運営を民間企業に委託する指定管理者制度が拡大
- ・ **私立博物館**：財団法人や学校法人、宗教法人、企業・個人が設置

46

博物館の分類別の館数

種 別	登 録 要 件 (設置主体)	設 置 要 件	登 録 又 は 指 定 主 体	館 数
登 録 博 物 館	地方公共団体一般社団法人宗教法人 など	・館長、学芸員必置 ・年間150日以上開館など	都道府県教育委員会	913
博 物 館 相 当 施 設	制限無し	・学芸員に相当する職員必置 ・年間100日以上開館など	都道府県教育委員会※1	349
博 物 館 類 似 施 設	制限無し	制限無し ※2	なし	4,485

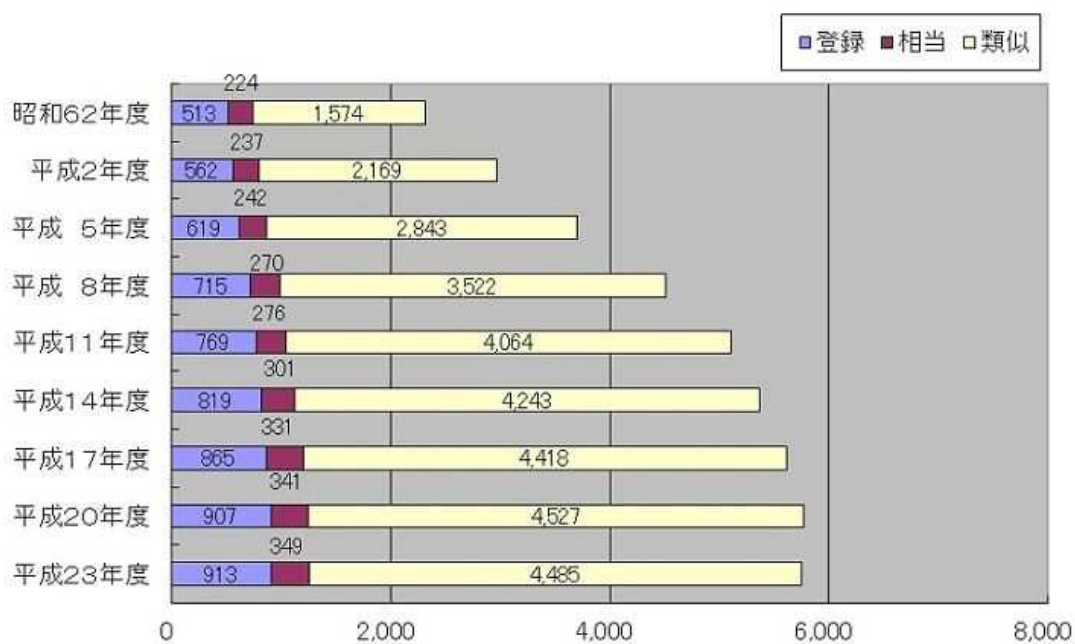
※1 博物館の設置主体が国・独立行政法国立大学法人の場合は国。

※2 「社会教育調査」上は博物館相当施設と同程度の規模を持つ施設。

(出典) 社会教育調査

47

博物館数の推移

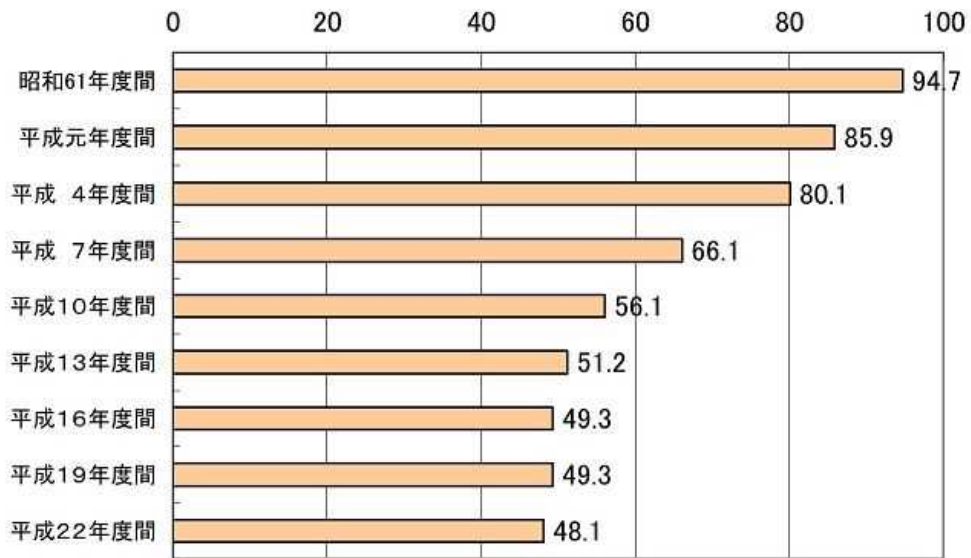


(出典) 文部科学省

48

1館当たりの入館者数の推移

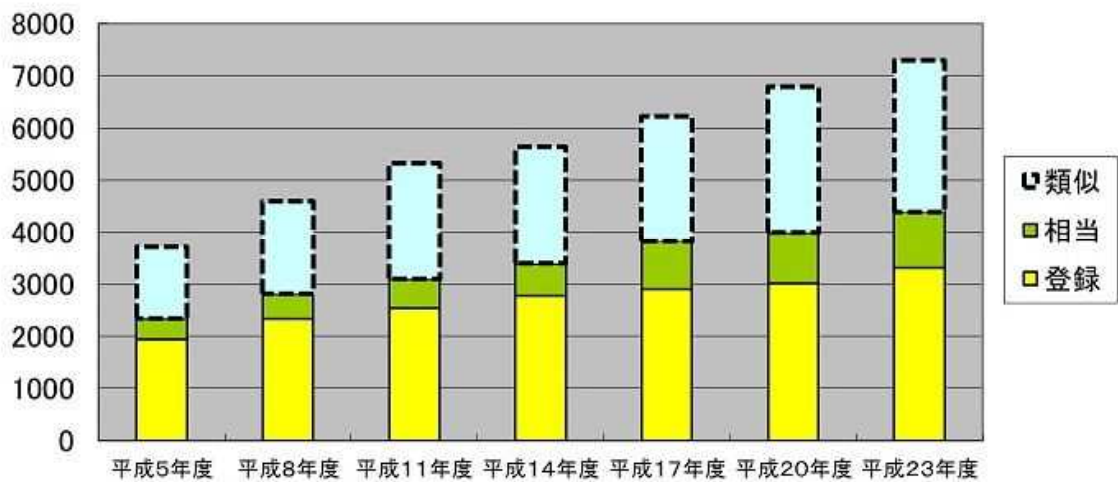
(単位：千人)



□1館当たりの入館者数

(出典) 社会教育調査

学芸員数の推移



(出典) 社会教育調査